

## 良好な環境の継承と安全な暮らしを支える 国土基盤の現状と課題について（論点）

### <資料のポイント>

1. 現在切迫性が高いと想定されている大規模地震の概要とその際の全国的な交通ネットワークから見たリスクポイントはどこか。被災時の影響はどうか。
2. 東アジアにおける災害の状況とその対応はどうか。
3. 我が国における県境を超えた防災協力の状況はどうか。
4. 地球温暖化に関する交通体系はどうか。
5. 東アジアにおける環境問題とその対応はどうか。
6. 東アジアも含めた静脈物流の状況はどうか。
7. 第1, 2回における東アジアとの交流について、地域の東アジア交流への取り組み、業種別の海外生産比率の推移、我が国の外資誘致施策、地方におけるアクセシビリティはどうか。

- ・ 東海、東南海、南海、南関東が大規模地震として特に切迫性が高い。
- ・ その際、特に被害が大きくなるのが予想されるのは東海地域であり、迂回コストは多大になる。これを回避するには、交通体系のネットワーク化、施設の耐震強化が重要。
- ・ アジアは世界的に災害の多い地域であり、災害の類似性などから我が国が貢献できる部分大きい。
- ・ 県を跨る防災対策が着実に進展している。
- ・ 交通における地球温暖化対策が急務であり、モーダルシフトの推進、都市のコンパクト化、自動車の低公害化などの対応が必要となっている。
- ・ 東アジアと我が国との環境協力が、国家レベルのみならず地域においても進展している。
- ・ 東アジアへの中古品輸出が急増しており、広域的なリユースが進んでいる。

### <論点>

1. 新規投資においてリダンダンシー確保の観点はどう考えるか？
2. 東アジアにおける防災上の連携はどうあるべきか？
3. 都市交通における環境負荷はどのように低減すべきか？
4. 幹線交通における環境負荷の低減をどう図っていくべきか？
5. 東アジアにおける環境上の連携はどうあるべきか？